

「パートナーシップ構築宣言」

J A三井リース九州株式会社（以下、当社）は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先を通じてその先の取引先に働きかける（「Tier N」から「Tier N+1」へ）ことにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。その際、災害時等の事業継続や働き方改革の観点から、取引先のテレワーク導入やBCP（事業継続計画）策定の助言等の支援も進めます。

当社は、グループ経営理念「Real Challenge, Real Change」において「より良い社会と未来」のために、お客様の思い描くビジネスの実現に挑戦することを掲げております。

当社の強みである業種・業界に精通した専門性を活かし、グループ内外のネットワークを「つなぐ・つなげる」ことにより、サプライヤーやユーザーと一体となって社会が求める価値を生み出し、持続可能で豊かな社会の実現に貢献してまいります。

2. 「振興基準」の遵守

親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行（下請中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

①価格決定方法

不合理な原価低減要請を行いません。取引対価の決定に当たっては、下請事業者から協議の申入れがあった場合には協議に応じ、労務費上昇分の影響を考慮するなど下請事業者の適正な利益を含むよう、十分に協議します。取引対価の決定を含め契約に当たっては、親事業者は契約条件の書面等による明示・交付を行います。

②手形などの支払条件

下請代金は可能な限り現金で支払います。手形で支払う場合には、割引料等を下請事業者の負担とせず、また、支払サイトを60日以内とするよう努めます。

③知的財産・ノウハウ

知的財産取引に関するガイドラインや契約書のひな形に基づいて取引を行い、片務的な秘密保持契約の締結、取引上の立場を利用したノウハウの開示や知的財産権の無償譲渡などは求めません。

④働き方改革等に伴うしわ寄せ

取引先も働き方改革に対応できるよう、下請事業者に対して、適正なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更を行いません。災害時等においては、下請事業者に取引上一方的な負担を押し付けないように、また、事業再開時等には、できる限り取引関係の継続等に配慮します。

3. その他

当社は、持続可能な社会のため、優先的に取り組む課題として5つのマテリアリティを特定し、SDGs の 17 ゴールの 1 つである「パートナーシップで目標を達成しよう」の考え方に沿って解決に取り組んでいます。例として、マテリアリティの 1 つである「技術革新による豊かな社会の実現」に向け、スタートアップ企業への出資や業務提携といったパートナー連携の推進により、新しい社会的価値を提供してまいります。

2022年5月6日

JA三井リース九州株式会社
企 業 名

代表取締役社長 柴田 稔
役職・氏名（代表権を有する者）